

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ボイラー燃料転換とお湯の生産適正化による  
省エネルギー事業

排出削減事業者名：株式会社ツチャコーポレーション

排出削減事業共同実施者名：電源開発株式会社

その他関連事業者名：株式会社トリリオン

# 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社ツチャコーポレーション
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	笑福の湯
住所	静岡県焼津市柳新屋 241-2
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	電源開発株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	株式会社トリリオン

（注） その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

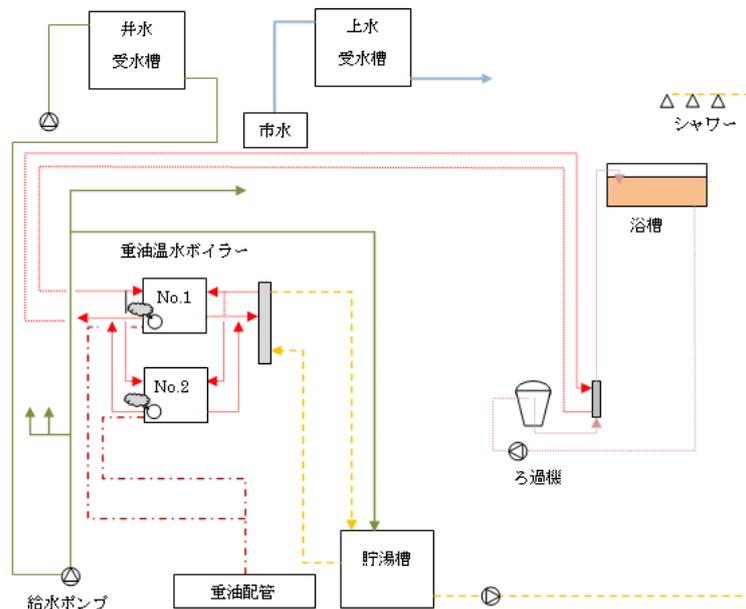
ボイラー燃料転換とお湯の生産適正化による省エネルギー事業

### 2.2 排出削減事業の目的

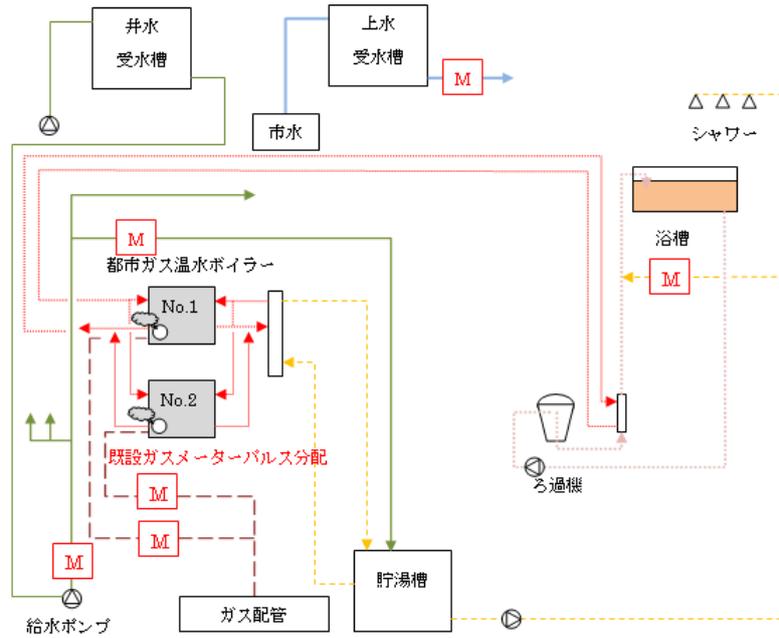
本事業は重油から都市ガスへボイラー燃料転換により CO2 排出量削減し、ボイラーで製造されるお湯の生産量適正化により CO2 削減及び省エネルギーを図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ボイラー燃料を重油から都市ガス（13A）へ燃料転換する。  
（排出削減事業実施前の設備概要）



(排出削減事業実施後の設備概要)



## 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

## 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2008年11月1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2009年5月30日 ～ 2012年11月30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

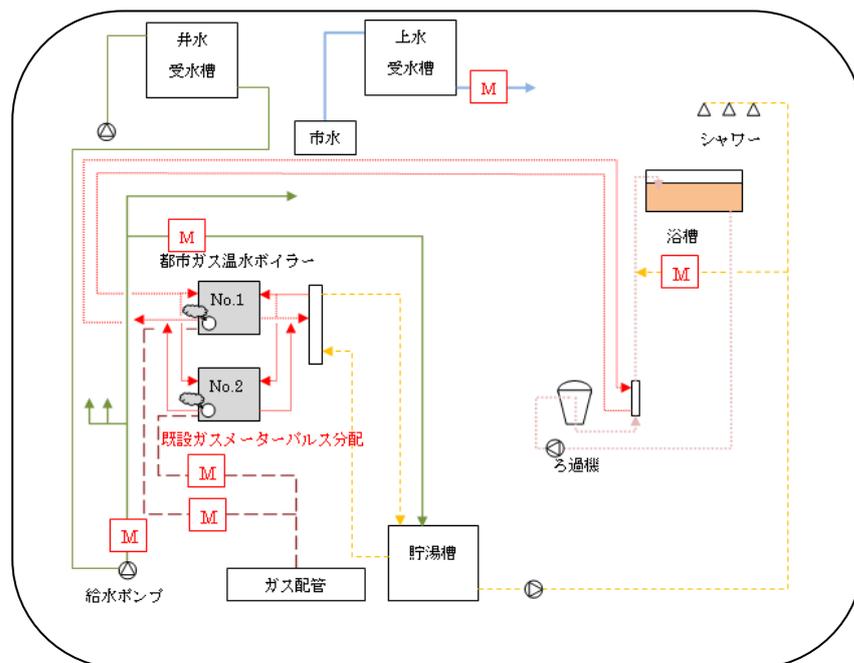
##### 4.2.1 活動量・原単位

なし

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

なし

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)



## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
M-1	事業実施後燃料使用量	千 Nm <sup>3</sup>	(’09/5/30-’10/3/31) 194,097 (’10/4/1-’11/3/31) 230,729 (’11/4/1-’12/3/31) 237,151 (’12/4/1-’12/11/30) 144,656 合計 806,633	請求書(購買量)を N m <sup>3</sup> に換算	変更無し
M-2	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/Nm <sup>3</sup>	0.0448	デフォルト	変更無し
M-3	事業実施後のボイラー効率	%	85	カタログ値	変更無し
M-4	事業実施前のボイラー効率	%	83	カタログ値	変更無し
M-5	事業実施前の燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	0.0189	デフォルト値	変更無し
M-6	事業実施後の燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/ GJ	(2009年度) 0.01360 (2010年度) 0.01375 (2011年度以降) 0.01382	デフォルト値	変更無し

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
194.1 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.01360t-C	433.6t-CO2
230.7 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.01375t-C	521.1t-CO2
237.2 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.01382t-C	538.5t-CO2
144.7 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.01382t-C	328.5t-CO2
EM <sub>PJ</sub>			1,821.7t-CO2

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
198.8 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.0189t-C	617.2t-CO2
236.3 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.0189t-C	733.6t-CO2
242.9 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.0189t-C	754.1t-CO2
148.1 千 N m <sup>3</sup>	44.8GJ/千 N m <sup>3</sup>	0.0189t-C	459.8t-CO2
EM <sub>BL</sub>			2,564.7t-CO2

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0t-CO2
LE			0t-CO2

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	2,564t-CO2
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	1,821t-CO2
リークージ排出量 (7.3)	LE	0t-CO2
温室効果ガス排出削減量	ER	743t-CO2

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースラインー実績 (①②)
954.8	932.3	22.5

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			